

豆田町並み通信

第66号

発行者
豆田町伝
建保存会
28年5月

旧船津歯科公関活用始まる！

歴史交流館の旧船津歯科が四月一日に正式開館しました。

建物の一階には、明治から昭和初期、豆田検番所開所当時の資料や写真（有村フキ子さん提供）を展示しており、二階には船津歯科の治療機器や歯科道具（船津伸子さん提供）を展示しています。

また建物内には中城町の故江口清博先生の豆田の風景を描いた絵画も今後展示していく予定です。

なお、四月一カ月間に五七〇名の入館者があり、地域住民の会合（二十五名が参加）も開催されました。



豆田検番所の資料を展示の一階展示室

豆田第一お楽しみ会開催

四月五日（火曜）歴史交流館・旧船津歯科の一階和室で、豆田上町のお年寄りが参加しての「豆田第一お楽しみ会」が開催されました。

会では中央包括支援センターの職員の見学があり、引き続き日田市社会福祉協議会の職員から健康運動の実践指導がありました。

その後皆でお茶を飲み交わしながら、楽しい時間を過ごしました。

参加した上田次枝さんは「こんな場が近くに出来てよかった。また皆と一緒に話をしたい。」と嬉しそうに話してくれました。



和気あいあいと開かれた
豆田第一のお楽しみ会

平成二十八年天領おひなまつり 十三万五千人が来訪

本年度で三十三回目となる「天領おひなまつり」の入り込み客数は、昨年同様の十三万五千人だった事が報告されました。

まつり期間中の土・日の公的駐車場を利用した駐車台数は六、九六〇台の一〇・四％、大型車は四十一台の八四％でした。施設入館者は十五％程度の減少でしたが、「健康マラソン」などの影響で豆田へは前年同様の観光客が訪れたとの事です。

（日田市観光課発表）

5年間の来客実績

年	来客数(人)
平成24年	118,000
平成25年	140,000
平成26年	130,000
平成27年	135,000
平成28年	135,000

土曜・日曜の駐車台数
6,960（普通車）41（大型車）

施設の入館状況

施設名	入館状況 (前年比) %
豆田地区6施設	79.6
隈地区2施設	76.0
天領資料館	103.8
日田祇園山鉾会館	88.9
サッポロ九州工場	103.8

豆田まちづくり歴史交流館
(旧古賀医院)入館者数
(三月一日〜三月三十一日)



観光客で賑わう魚町通り

地域		h27(人)	h28(人)	%
大分県	日田市	439	226	51.4
	その他	267	566	212.0
福岡県		1,380	1,692	122.6
九州(福岡・大分以外の県)		461	611	132.5
九州外の県		470	456	97.0
外国		66	121	181.8
合計		3,083	3,672	119.1

豆田地区関連予算決定

先の三月議会で豆田地区関連の予算が議決されましたのでお知らせいたします。

事業名	事業費(千円)	事業概要
市道上町通り線補修工事	27,300	一新橋～豆田郵便局間の舗装工事(測量設計費2,300千円、工事費25,000千円)
世界遺産登録推進事業	3,000	咸宜園教育の世界遺産登録を目指しての研究・啓発
咸宜園跡保存整備事業	630	咸宜園跡地の保存整備計画の策定・検討
伝統的建造物群保存事業	47,410	伝建地区内の建造物について、一定の助成及び技術支援

震災被害を視察！

四月二十三日(土)、衛藤征士郎代議士が十六日に起こった永山城跡の石垣崩落現場を視察しました。

幅10mの石垣が30m下の石段まで落下し、途中あった鳥居も破壊された現状を見た衛藤代議士は「この史跡は大分県の文化財に指定されており、県とも協力して復旧に全力を尽くします」と集まった住民に話されました。

丸山一丁目自治会長の佐藤鷹雪さんは、「この月隈山の中腹には地元住人が管理している月隈神社があり、このままでは参拝も掃除などの管理も出来ない。一刻も早い復旧をお願いしたい」と話されました。尚、二十六日には文化庁の調査官も永山城跡の崩落現場を調査しました。



市の職員から被害の説明を受ける
衛藤代議士(右端)

中城町公共トイレ完成

中城お旅所横で進められていた中城町公共トイレの設置工事が完了し、この四月末より供用開始されました。

このトイレは平成二十五年に、豆田地区振興協議会と豆田四町山鉾会が、市道大原友田線拡幅工事で生じた残地に建設をお願いしていたもので、用地買収を含めて総額二千五百十五万円で完成したものです。

中城町の和田忠義自治会長は「このトイレは豆田の南の入口に当たる事から、観光客や祇園祭の参加者の不便が解消し、大いに利用して頂けると思います」と語ってくれました。



男女用便所と多目的便所も備え、身障者や乳幼児にも優しいトイレ。

中城町見送幕完成！

三月二十六日(土)祇園会館にて「幕保存修理委員会」が開催され、平成二十七年に復元新調を行っていた中城町の「玄武」の見送幕が完成した事が報告され、その場で披露されました。委員の皆さんは、その出来栄えに感動していました。委員会では併せて平成二十八年度事業として、港町の山鉾を復元新調する事も了承されました。



会場中央の幕は中城町の復元新調された「玄武」の見送幕。旧幕も横に飾られ見事な出来栄えに委員も感動。

平成二十八年度

豆田町伝建保存会通常総会のお知らせ

日時 平成二十八年六月十三日(月)

午後七時三十分

場所 若の屋

会費 一〇〇〇円(会員証持参の事)

※会員には往復ハガキを送付します